

平成25年度 第2回 天王寺区区政会議 次第

日時：平成25年11月13日(水)19時～21時

場所：天王寺区役所 3階 講堂

1 開会

2 区長あいさつ

3 委員紹介

4 議題

(1) 議長・副議長の選任

(2) 平成25年度区運営方針の中間振り返りについて

(3) 平成26年度の主な取り組みについて

5 閉会

資料 1

天王寺区 区政会議 委員名簿（五十音順、敬称略）

平成 25 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日

家田 裕光	区青少年指導員連絡協議会
生駒 周三	区老人クラブ連合会
石川 武	区身体障害者団体協議会
出水 季治	公募委員
岡田 安弘	区商店会連盟
川上 亀雄	区民生委員協議会
河村 良平	公募委員
神崎 智榮	公募委員
栗谷 信之	公募委員
越村 真己子	公募委員
小西 丕	区社会福祉協議会
小林 千代野	区地域女性団体協議会
酒井 建志	公募委員
渋谷 真奈美	公募委員
谷口 典子	区健康づくり推進協議会夕陽の会
田渕 康裕	公募委員
出村 肇	公募委員
中野 明男	区地域振興会
服部 多嘉男	区保護司会
原田 久仁彦	公募委員
原田 恵子	公募委員
原田 照久	公募委員
飛田 裕	公募委員
平田 重子	区母と子の共励会
真野 光司	区スポーツ推進委員協議会
三浦 由美子	区食生活改善推進員協議会
南 志朗	区子供会育成連合協議会
守島 繁昭	区薬剤師会

中間振り返りの総括

○業績目標から見て進捗が遅れている取組項目の中には、目標達成のためには相手側の理解や協力が必要なものや、通常より難易度の高い目標を掲げて、組織をあげて達成に向けてチャレンジしているものもあることから、困難なものもあるが、引き続き、目標達成に向けて精力的に取り組んでいく。

○重点的に取り組んだ主な項目

「命を守る政策」

- ・高齢者の生活や体調の異変を早急に察知して対応する体制の構築として「独居高齢者等見守りサポーター事業」
- ・災害による被害を最小限にするため、自身で家具固定をすることが困難な世帯への「家具転倒防止器具取付事業」

「地域の未来」のための人材育成

- ・中高生を対象とした企業等で実践的な職業体験をする「インターンシップ事業」
- ・小学生を対象とした「社会の仕組みを学ぶ体験学習事業～Kids City!天王寺 小学生が創る未来のまち～」
- ・待機児童ゼロに向けた取組みの推進（8月1日時点における保育所待機児童は3名(前年同月比77名の減)）

「快適に利用できる区役所の追求」

- ・こども連れでも安心して窓口を利用できるようキッズスペースを設置
- ・なにわの伝統野菜「天王寺蕪」の栽培などを通じて区役所をより身近に感じていただくための「天王寺区役所農園（水耕栽培システム）」の開設など、庁舎の環境整備

○今後、年度後半において、目標達成に向けて、具体的な方策を考えながら、精力的に各取組みを進めていく。

経営課題	「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用
戦略	地域の未来を担う人材の育成
施策名	天王寺区在住中学生・高校生を対象としたインターンシップ事業
H25年度予算	180.8万円
事業目的	天王寺区に居住する中学生及び高校生が、大阪市内及び周辺都市の企業等において、先進的かつ実践的な職業体験を積み、社会で生きていく力を養うことにより、未来を担う人材を育成することを目的とする。
めざす成果	プログラム利用者の満足度70% 平成27年度
業績目標	参加する学生数 10名
実施方法	公募により実施事業者を選定。選定された㈱KEGキャリア・アカデミーへ業務委託。受託者が受入企業及び参加者を確保し、マッチング、調整等を行う。
実施状況	<p>【受入企業・職業体験・参加者数】</p> <p>ヤフー㈱ ・大阪編集室での掲載情報の選別やSNS更新業務など(2名)</p> <p>宇宙航空研究開発機構 ・宇宙技術活用の商品企画業務など(6名)</p> <p>㈱ミキハウス ・海外のバイヤーとの商談の場体験など(2名)</p> <p>地域基盤技術継承プラザ ・ものづくり体験、工場見学など(1名)</p> <p>【受入期間】</p> <p>5日間 (7月～8月)</p> <p>【定員・参加者数・応募者数】</p> <p>定員12名、参加者11名(実施直前に1名辞退)、応募者13名</p>
これまで聴いている評価の声	<p>【参加者(計11名)】</p> <p>〔今の気持ちは?〕満足8名、満足でない(期間が短い)1名、 どちらもいえない2名</p> <p>〔進路決定に役立つか?〕役立つ6名、わからない5名</p> <p>【受入企業(4社)】</p> <p>〔中高生に有意義か?〕有意義3社、 その他1社(狙いや運用方法次第で有意義になる)</p> <p>※以上はアンケート実施済み</p> <p>【地域住民】</p> <p>・11名の生徒に、約180万円を支出することへの疑問。</p>
成果指標達成度	【業績目標】達成 (参加者11名) 【めざす成果】達成 (満足度73% 8人/11人)
課題	<ul style="list-style-type: none"> 参加者が募集定員12名に達しなかったこと 費用対効果(11名で約180万円を支出すること)の区民への説明
課題対応方向性	<ul style="list-style-type: none"> 今回は周知期間が短かったため、今後実施する場合は十分な周知が必要 参加者だけの体験に留めるのではなく、成果報告会を開催し、他の生徒や広く区民にも体験を共有化してもらう。(成果報告会：11月17日開催〔区役所にて〕)
現時点での認識	周知方法の工夫など実施方法を改善して来年度も実施

25年度区長新規施策の中間振り返り評価シート

No. 2

経営課題	「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組と海外人材の活用
戦略	地域の未来を担う人材の育成
施策名	社会の仕組みを学ぶ体験学習事業
H25年度予算	217.2万円
事業目的	天王寺区に居住する小学生を対象に、社会の仕組みや仕事について自ら体験し、考える機会を提供することにより、未来を担う人材を育成することを目的とする。
めざす成果	プログラム利用者の満足度70% 平成27年度
業績目標	参加する児童数 30名
実施方法	公募により実施事業者を選定。選定されたNPO法人cobonへ業務委託。受託者がプログラムの策定、参加者の募集、及び参加者・ボランティアスタッフを確保し、プログラムの実施等を行う。
実施状況	<p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Kids City! 天王寺」 こどもたちが「Kids City! 天王寺」という「まち」の区民となって、自分の好きな仕事をする中で、お金（「Kids City! 天王寺」の通貨）を稼ぎます。仕事をする中で、お金の仕組みを理解したり、問題が起こった時に対応する力や、多くのこどもたちと協力して一つの仕事をやり遂げる社会性を学びます。 <p>【実施時期】</p> <p>（職業・まちづくり体験）11月3日、4日開催（事前こども会議）9月～10月で4回</p> <p>【定員・応募者数】</p> <p>定員：（職業・まちづくり体験）各日200名、（事前こども会議）各回20名 参加者：11月3日131名、4日173名（事前こども会議）各回約20名</p>
これまで聴いている評価の声	<p>【学校関係者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天王寺区の小学生が約3,500名の中で、約280名（実数）（延人数は304名）の小学生（約8%）が参加しているのは望ましいと思う。
成果指標達成度	<p>【業績目標】達成（参加者延304名）</p> <p>【めざす成果】今後利用者満足度を調査</p>
課題	・高学年の参加者が必ずしも多くなかったこと（特に11月4日）
課題対応方向性	・高学年にも多く参加してもらえるよう、プログラム内容などを工夫し、周知する。
現時点での認識	アンケート結果を踏まえ、プログラム内容など改善して来年度も実施

25年度区長新規施策の中間振り返り評価シート

No. 3

経営課題	お年寄り1人1人の命を守り抜く地域福祉
戦略	高齢者見守り体制の構築
施策名	独居高齢者等見守りサポーター制度の創設
H25年度予算	712.1万円
事業目的	独居高齢者等世帯への地域での見守り体制を構築することにより、当該世帯の抱える課題を早期に発見し、早期対応につなげることを目的とする。
めざす成果	独居高齢者等の見守り体制が構築されていると感じる区民の割合 70% 平成27年度
業績目標	制度の創設及び実施
実施方法	75歳以上の高齢者のみ世帯を対象に初回は区職員(あなたの声をつなげ隊)が訪問。ボランティアによる訪問に同意した世帯を対象に、2回目以降は概ね月に1度のペースでボランティアが訪問。 原則として地域ごとにボランティアリーダー(有償)を配置し、とりまとめと区役所との連絡役を担う。
実施状況	【初回訪問実施済み地区の状況】 大江地区80名、五条地区51名、聖和地区55名、生魂地区41名が見守り訪問を希望。 公募ボランティアが大江地区2名、五条地区0名、聖和地区3名、生魂地区4名と少数であったため、地域に見守りをご協力いただくべく協議。 大江地区は町会のご協力により11月より訪問開始 五条・聖和地区とも地域で見守りをご協力いただく方向で協議中。
これまで聴いている評価の声	【希望される人の割合】 対象者中、見守り訪問を希望される人の割合は上記4地域平均で約25%であった。 【対象者の声】 ・見守りを希望される人からは「このような見守りがあると安心」「有難い」という声を多くいただいている。 ・見守りを希望されない理由としては「今は元気なので不要」「近くに親族がいて日常的に見守りがあるので不要」という理由が多く、否定的な反応はほとんどない。 【地域の声】 地域ごとに差異はあるが「自らの地域の高齢者は自らの地域で見守る」との意識を示す地域もある。また、既存の振興町会の枠組みから漏れがちであったマンションなど集合住宅に対するアプローチを区が行ったことに対して評価する、との声もあった。
成果指標達成度	(着手した段階なので未評価)
課題	・ボランティアの応募が少なかったこと ・希望しなかった人への再訪問(状況変化の把握を目的とする)
課題対応方向性	・地域との連携によるボランティアの確保 ・希望しなかった人への再訪問(来年度以降)
現時点での認識	実施方法を改善して来年度以降も実施

25年度区長新規施策の中間振り返り評価シート

No. 4

経営課題	より多くの人々の「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求
戦略	減災のための取組の強化（事前の備え）
施策名	区民巻き込みオペレーションの展開
H25年度予算	70.9万円
事業目的	参加体験型の講座、イベントや集客施設における即席講座等を開催し、災害対策リテラシー（災害への対策を理解し、対応できるようにする能力）の向上を図り、区民の非常持ち出し品の準備や家具転倒防止対策など自助の取組みを促進する。
めざす成果	災害時の持ち出し品等の用意率 平成27年度 世帯数の50% 家具の固定率 平成27年度 世帯数の50%
業績目標	「出前講座」実施後のアンケートにおいて「今後活かせる」と回答する割合70%以上
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・10人以上で構成されるグループ・団体からの依頼に応じて、出前講座を実施 ・区役所から各種イベントでの防災に関するブースの確保をお願いし、非常持ち出し品や家具転倒防止器具、区の備蓄品の紹介・展示、アルファ化米の試食などを実施
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座 11回（参加者数：978名） ・展示型啓発 6回 （平成25年10月20日現在）
これまで聴いている評価の声	<ul style="list-style-type: none"> ・一度マンションの出前講座に来ていただいたが、他の場でも説明して欲しい。 ・出前講座という消防署や警察のイメージがあったが、区役所でも取り組まれているとは思わなかった。 ・休日にも関わらず、出前講座の対応をいただけてありがたい。 ・このような小さい単位で、定期的に学習会を開催してほしい。
成果指標達成度	<p>【業績目標】 現在実施中</p> <p>【めざす成果】 今後調査のうへ把握</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度の区民モニター調査結果では、災害時の非常持出品等の用意率は57.7%、家具の固定率は58.0%という結果であり、区民の自助意識のより一層の向上に継続して取り組む必要がある。
課題対応方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に楽しみながら防災を学べるよう工夫をしながら、現行の取組みを継続して実施し、区民のみなさんの自助・共助の取組みを促進
現時点での認識	<ul style="list-style-type: none"> ・区民巻き込みオペレーションは実施回数の増に取り組み、継続実施 ・別途、26年度については、防災イベントの実施を検討

25年度区長新規施策の中間振り返り評価シート

No. 5

経営課題	より多くの人の「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求
戦略	減災のための取組の強化（事前の備え）
施策名	家具転倒防止器具取付事業
H25年度予算	352.3万円
事業目的	自身で家具転倒防止器具を取り付けることが困難な高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、専門事業者による家具固定転倒防止器具の取付けを行い、地震発生時、家具の転倒による被害を最小限にとどめることをめざす。
めざす成果	家具の固定率 平成27年度 世帯数の50%
業績目標	家具固定グッズの取付け 435世帯
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・申請者は、区役所に申込み ・区は、申請を1ヶ月単位で取りまとめ、世帯構成、課税状況等を確認し、取付事業者に取付けを依頼 ・取付事業者は、申請者宅の事前調査を行い、取付器具を選定。取付器具の準備が整い次第、取付けを実施
実施状況	<p>【申込の状況】</p> <p>104世帯（平成25年10月15日現在）</p> <p>内訳：天王寺小学校区13世帯、大江小学校区10世帯、聖和小学校区14世帯、五条小学校区19世帯、生魂小学校区20世帯、桃陽小学校区14世帯、味原小学校区6世帯、真田山小学校区8世帯</p>
これまで聴いている評価の声	<ul style="list-style-type: none"> ・以前から、災害時における家具転倒が心配だったので助かった。 ・この事業を利用し良かったので、友だちにも教えた。
成果指標達成度	（着手した段階なので未評価）
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・想定よりも申込件数が少なかった。 ・高齢のため、区役所まで申込みに行くことができない。 ・高齢者、障がい者だけでなく、ひとり親家庭にも必要な事業なのではないか。
課題対応方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・「あなたの声をつなげ隊」による高齢者訪問時の受付、「まちかどパートナー」などによる食事サービスの場等での出張受付を実施 ・26年度以降、ひとり親世帯等も対象に含めることを検討
現時点での認識	実施方法を改善して来年度以降も実施

25年度区長新規施策の中間振り返り評価シート

No. 6

経営課題	より多くの人の「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求
戦略	減災のための取組の強化（被災後の備え）
施策名	マンション等集合住宅への備蓄拠点設置事業
H25年度予算	95万円
事業目的	保管スペースを提供してくれるマンション等集合住宅（以下「マンション等」という）に、救助資器材等災害用物資を配備し、マンション等の住民及び周辺住民が災害時に活用できるようにするとともに、配備をきっかけにマンション等における自助・共助の取組を促進し、地域の防災力の向上を図る。
めざす成果	収容避難所の場所を知っている区民の割合 70% 平成27年度
業績目標	マンション等内に物資の備蓄拠点を設置 2カ所
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の基準（概ね半径200メートル以内に救助資器材を配備している収容避難所等がないこと等）を満たすマンション等に対し、配備の協力を依頼 ・マンション等において、さらに幾つかの条件（年1回以上防災訓練を実施している等）を満たすことを確認した上で、協力を申出 ・区において、立地を勘案して配備場所を決定 ・マンション等と区の間で配備にかかる覚書を交わし、物資を配備
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・7月：47件のマンション等に協力を依頼 ・9月：3件のマンション等から協力の申出 ・9月：3件のマンション等に災害用物資の配備を決定 ・10月：配備物資の選定・購入手続きに着手 ・11月：覚書の内容の確認 ・2月頃：覚書の締結、物資の配備（予定）
これまで聴いている評価の声	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション等で防災に関する取組み（防災部会の設立、防災マニュアルの策定等）を進めるきっかけにできる。 ・マンション等の総会が5、6月なので、今年度は応募できない。次年度も継続してほしい。
成果指標達成度	(着手した段階なので未評価)
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生後、初期・初動に必要な救助資器材の備蓄場所（一時避難所・収容避難所）が周辺にない空白地帯が残っている。
課題対応方向性	大きな空白地帯(2カ所)にあるマンション等に働きかけ、さらに配備を進める方向で検討
現時点での認識	実施方法を改善して来年度も実施

25年度区長新規施策の中間振り返り評価シート

No. 7

経営課題	より多くの人の「災害対策リテラシー」を向上する事業の追求
戦略	こどもの安全安心の確保
施策名	こども安全見守り防犯カメラの設置
H25年度予算	121万円
事業目的	こども被害などの犯罪を減らし、こどもが安全で安心して学び遊べるまちをめざす。
めざす成果	区内8小学校区すべてにこども安全見守り防犯カメラを設置 平成27年度までに30か所
業績目標	モデル2小学校区に10台設置
実施方法	警察署等と協議のうえ、こどもの安全見守りのための防犯カメラを小学校周辺に公設置を行う。
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・5月に、警察署、小学校及び地域へ事業内容を説明するとともに、警察署等の意見を踏まえて公設置基準及びモデル地区（天王寺小学校区、生魂小学校地区）を決定 ・5～7月の間、警察署、小学校及び地元と協議のうえ具体的な設置箇所案を決定、8～9月、所管官庁へ諸許可申請及び調達手続き、9月にカメラ事業者を決定、10月に設置完了 ・11月から運用を開始（リース期間 5年間）
これまで聴いている評価の声	<p>カメラ運用直後であり、まだ意見は届いていないが、設置に向けた協議・調整段階での意見としては、以下のとおり。</p> <p>（警察署の意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもが被害者となる犯罪や街頭犯罪の抑止効果はもとより、犯罪事件が発生したときの容疑者の特定にも大きな効果があり、街頭カメラの設置は大変ありがたい。 <p>（小学校や地元の意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校周辺や通学路等への防犯カメラの設置は、子どもたちが被害者となる犯罪の抑止効果が期待できる。
成果指標達成度	【業績目標】達成（10台設置）【めざす成果】着手した段階なので未評価
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市として初めての防犯カメラリースにかかる長期継続契約であったことから、手続きに時間を要した。 ・電柱など街頭への設置にかかる使用許認可の手続きの関係先が多く、それぞれに時間がかかることから、調達決定から設置及び契約までの期間を最低2ヶ月は見込む必要がある。
課題対応方向性	今年度実施により明らかになった上記課題について、次年度の予算案や事業実施スケジュール案へ反映させる。
現時点での認識	事業スケジュール等を一部改善のうえ、来年度も継続して実施する。

25年度区長新規施策の中間振り返り評価シート

No. 8

経営課題	戦略的なシティ・プロモーションの推進
戦略	天王寺のまちのブランド力の強化
施策名	戦国博（仮称）の開催に向けた取組
H25年度予算	258.5万円
事業目的	大坂の陣400年、天王寺動物園100周年を契機に、継続的に天王寺の魅力を広く発信し、区民にも知られていない天王寺区の歴史・文化を知ってもらうとともに、今まで歴史や文化に興味の薄かった人々にも天王寺区の魅力を知っていただき、多くの人々が文教のまち天王寺に集まる賑わいのあるまちづくりを通じて区民が地域に愛着を持ち、自らが誇りと輝きを感じられる地域力を育てる。
めざす成果	歴史的・文化的資産の情報発信が十分にできていると感じる区民の割合 70% 平成27年度
業績目標	戦国博（仮称）の実施計画作成ならびに実施に向けた準備作業
実施方法	事業受託者を選定し、実施案の策定と実施に向けた準備を進める。
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・26～27年度の戦国博（仮称）事業プランの作成事業者を定め、素案を作成。 ・戦国博（仮称）を改め「天王寺 真田幸村博」に（9月） ・六文銭ファンド募集開始（7月～） ・イベントアイデア応募件数53件 ・天王寺公園での武将イベント1回
これまで聴いている評価の声	<ul style="list-style-type: none"> ・六文銭ファンドを活用した真田丸（ジオラマ）がどんなものになるか興味がある。 ・幸村博に協力したい、または一緒に何かしたい。
成果指標達成度	<p>【業績目標】 現在実施中</p> <p>【めざす成果】 今後調査のうえ把握</p>
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実施体制の構築ならびに各所から提案されているイベントの整理 ・資金の調達方法
課題対応方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・受託事業者や周囲の意見を取り入れて、早急に検討を進めていく。 ・六文銭ファンド、クラウドファンディング、広告収入、入場料・出店料等あらゆる方策を検討し、早急に対応していく体制を整える。
現時点での認識	26年度当初のプレイベントの開催に向けての準備を進めていく。

25年度区長新規施策の中間振り返り評価シート

No. 9

経営課題	戦略的なシティ・プロモーションの推進
戦略	JR天王寺駅北口及び周辺地区の地域ビジョンの確立
施策名	JR天王寺駅北口周辺の商店街の活性化に向けたビジョンの立案
H25年度予算	0円（経済局予算 197.6万円）
事業目的	J R天王寺駅北口及び周辺地域について、地域住民・関係者等の意見聴取、デザインコンペの実施などにより地域ビジョンを確立していく。
めざす成果	地域ビジョンに共感する区民の割合 70% 平成27年度
業績目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民並びに関係者等への意見聴取を踏まえた第1次報告書のとりまとめ ・経済局等の地域経済活力創造事業の活用を地元商店街に提案
実施方法	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民並びに関係者等への意見聴取。 ・まちづくりの専門的知識を有する事業者による現地調査とモデル案の作成 ・デザインコンペ実施に向けた準備
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域における意見聴取の実施。 ・経済局予算(スタートアップ事業)を利用して、課題を抽出するための現況調査・事業化方策の検討開始 ・来年度のデザインコンペ実施に向けた検討
これまで聴いている評価の声	<ul style="list-style-type: none"> ・北口が現状のままでよいとは思わない。 ・大阪の南の玄関口として力を入れてほしい。 ・天王寺駅の南側に比べ、昭和レトロ感のイメージを大切にすることもいいのではないか。
成果指標達成度	(着手した段階なので未評価)
課題	当該地域の活性化に向けて、機運を高める必要がある。
課題対応方向性	今後、地域の機運を高めながら、地域ビジョンの策定に取り組む。
現時点での認識	今年度作成した調査・検討報告とモデル案を元に、デザインコンペの実施など、具体的な実施案を検討する。

25年度区長新規施策の中間振り返り評価シート

No. 10

経営課題	市政改革プランに基づく「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」
戦略	多様な協働による地域活動の活性化
施策名	地域重要課題解決応援制度
H25年度予算	32.5万円
事業目的	「防災」「防犯」「地域福祉」「人材育成」など、さまざまな地域課題に資する、実現可能性の高い企画や取組みを広く募集し、斬新かつ優れた内容の企画・取組みの事業化を支援する。
めざす成果	・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業など様々な活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合：平成26年度までに60%以上
業績目標	・企画・取組みの事業化 2事業
実施方法	地域における課題の解決をめざす企画案を、公募型企画競争により募集し、外部委員3名で構成する選定委員会で審査・決定。選定した企画案を区の事業として位置づけ、立案者に事業実施を委託する。
実施状況	<p>地域課題解決担い手発掘事業として実施</p> <p>【対象分野例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援 ・地域住民による防災の取組み ・子どもや高齢者の安全にかかる取組み ・地域のつながりづくり ・地域の賑わいづくり ・青少年健全育成の取組み ・地域における環境にかかる取組み ・健康づくりの取組み など <p>【事業規模】 事業規模 募集件数 2件 事業経費 1件当たり10万円を上限</p> <p>募集に対して6件の応募があり、うち「街路樹や公園樹の保全」「子育て支援」の2事業を選定し、企画者による取組みを進めている。</p>
これまで聴いている評価の声	着手した段階なので、評価の声は聞いていない。
成果指標達成度	<p>【業績目標】 達成（事業化2事業）</p> <p>【めざす成果】 今後調査のうえ把握</p>
課題	選定した取組みが効果的な事業実施となるよう、区役所からの支援を行う必要がある。
課題対応方向性	地域における既存の取組みと連携するなど、効果的な事業実施となるよう支援する。
現時点での認識	応募数の拡大に向けて来年度も実施

あなたの声をつなげ隊の意見聴取

※意見の多い順に記載

施策の方向性

新規施策の検討

予防接種への助成を求める意見が多い

(%) : 回答総数のうち子育て関連施策1405件に占める割合

- 予防接種(任意)への助成 (22%) 313件
 - ・すべて無料にしてほしい 65件
 - ・任意接種のうち何種類かは無料にして欲しい 84件

子どもの体験・教育・親子参加の機会提供を求める意見が多い

- 【いただいた主な意見】 (11%)
- 子育てハウチャー 151件
 - ・子どもの体験・教育・親子参加 82件
 - ・お試し券が欲しい 21件
 - ・一時保育や医療費に使えるチケット 15件

一時保育の充実を求める意見が多い

- 【いただいた主な意見】 (10%)
- 一時保育 137件
 - ・区内に実施施設を増やしてほしい 45件
 - ・保育理由の緩和や即日対応にも応えてほしい 24件

病児・病後児保育施設の拡充を求める意見が多い

- 【いただいた主な意見】 (7%)
- 病児・病後児保育 100件
 - ・区内に実施施設を増やしてほしい 44件
 - ・保育時間を19時間まで延長してほしい 21件
 - ・各保育所内で病児・病後児保育をできるようにしてほしい 8件
 - ・即日対応にも応えてほしい 5件

子ども子育てプラザ、地域の子育て支援サークルに関して、実施回数等の拡充を求める意見が多い

- 【いただいた主な意見】 (6%)
- 子ども・子育てプラザ 86件
 - ・天王寺区南部にも設置してほしい 40件
 - ・エレベータを設置してほしい 7件
- (5%)
- 地域の子育て支援サークル 65件
 - ・実施回数を増やしてほしい 29件
 - ・年齢別に実施してほしい 8件

子育て全般について、わかりやすい情報提供を求める意見が多い

- 【いただいた主な意見】 (5%)
- 子育て情報の充実 50件
 - ・子どもを預かるサービスの情報がほしい 20件
 - ・親子で参加できる施設の情報がほしい 10件
 - ・産後の支援の情報がほしい 4件

任意予防接種の促進

・任意予防接種についても、子どもの命を守る観点から、それを促進する何らかの施策を講ずる必要性は高い。
 ・他都市では接種料への助成を行なっている都市がある。

子どもの体験・教育等の機会の充実

・乳幼児期から子どもの体験・教育等の機会を提供することにより、未来を担う人材の育成につなげる施策を検討。

- 【参考】天王寺区の特徴
 - ・就学前人口の伸び率が高い(24区中5位)
 - ・同人口の全人口に占める割合が高い(24区中6位)
 - ・40歳未満人口(子ども、子育て世代)比率が高い(24区中8位)
 - ・全国学力状況調査でも天王寺区はハイレベル

一時保育の充実

・区内には一時保育施設は2箇所あるが、年度末の時期に受入できない状況にあり、実施施設の増により子育て世帯を支援を検討。

子育て関連の情報提供の充実

・区内には病後児保育施設が1箇所のため、拡充を求める意見が多いが、他区での訪問型病児・病後児保育事業の有効性等の検証を踏まえ、今後当区でも検討。
 ・当面、周辺区の施設も含めた子育て関連の情報提供の充実を図ることにより、子育て世帯の支援を検討。

子ども子育てプラザ・地域の子育て支援サークルの充実

・区内の地域子育て支援拠点施設の増設の検討
 ・地域の子育て支援サークルへの区民ニーズの情報提供

子育て関連の情報提供の充実

・子どもの年齢、ニーズの分類、居住地など様々な面から検索できる、総合的な情報発信を行うことにより、子育て世帯を支援を検討

A 乳幼児期における子育て支援の充実

・(仮称)子育て応援券の検討
 乳幼児期から、子どもの体験・教育等の機会を提供する仕組みとして、他都市に取組み例のある(仮称)子育て応援券を検討

〔考えられるメニュー〕
 親子参加型各種講座のほか
 こどもの保育・育児(一時保育・子どもの送迎)の支援、親のサポート(家事支援サービス)等も検討
 任意予防接種への助成も併せて検討(所得制限についても検討)

B 一時保育(一時預かり)の充実

・一時保育(一時預かり)事業の実施箇所の増設
 緊急・一時的に家庭での保育が困難になる場合や、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担の軽減等のために保育を必要とする場合の一時預かりの充実

C 子育て関連の情報提供の充実

・利用者の立場に立った子育て情報の充実
 スマートフォンやパソコンなどを使って、子育てに必要な情報を、子育てに忙しい養育者が、いつでもどこでも手軽に知ることができる、利用者の立場に立った子育て情報を提供

D 子ども子育てプラザ・地域の子育て支援サークル

・子ども子育てプラザ・地域の子育て支援サークルの充実
 区内の地域子育て支援拠点施設の増設に向けた調整
 地域の子育て支援サークルに関する情報提供の充実

C 子育て関連の情報提供の充実

上記、記載のとおり

※「新規施策の検討」欄は、H26年度に向けて現時点で検討を進めようとしている方向性を示すものです。今後の予算編成の中で具体的検討を進めます。

天王寺区 未来人材育成 施策体系(案)

■ : 子育て支援施策

■ : 未来人材育成施策

